

神戸ビエンナーレ 2015 出展作家決定！！(第3弾) 「アートインコンテナ国際コンペティション」の一次審査結果

神戸ビエンナーレ 2015 に向けたコンペティションの審査会を進めており、今回は「アートインコンテナ国際コンペティション」の一次審査会が行われ、応募総数 114 作品から入選 15 作品を選考しました。

1. 一次審査会

審査日

平成 27 年 3 月 27 日(金)

場所

神戸市役所内会議室

審査員

蓑 豊	兵庫県立美術館館長
坂村 健	東京大学大学院情報学環教授
中谷 日出	日本放送協会解説委員室解説主幹
鈴木 太朗	メディアアーティスト、東京藝術大学美術学部准教授
吉田 泰巳	神戸ビエンナーレ 2015 総合プロデューサー

2. 入選作品

入選作品は海外からの応募 4 作品(ドイツ1、フィンランド1、ルーマニア1、エクアドル1)を含む
15 作品

※詳細は別添の一覧表の通り

3. 審査員講評

- ・多様な作品が出ていて面白く、どの作品も興味深かったが、企画書のプレゼンテーション力で作品の評価が左右された部分もあったように思う。
- ・第5回目と数を重ねてきたことから全体的なレベルも高まり、良くまとまっている印象を受けた。
- ・今回は夜間展示であることから、場景に見合う作品も見受けられた。
- ・回を重ねてパターン化されつつも全体的に完成度が高い作品が出てきているが、イノベティブ(刷新的)な作品も期待したい。

・今までは視覚、聴覚に訴える作品が大半だったが、今回新たに触覚的な作品が出てきたことで、新たな広がり生まれた。素晴らしい作品が出来上がるのを期待している。

4. 賞・賞金

- ・神戸ビエンナーレ大賞 … 賞状、トロフィー、賞金 300万円
- ・準大賞 … 賞状、賞金 100万円
- ・入賞 … 賞状、賞金 35万円

※賞金額は税込額。海外からの入賞者には、渡航費補助として30万円(アジア地域は15万円)加算。

※入賞作品の中から、二次審査(実物)で大賞・準大賞を決定。

5. 今後のスケジュール等

- ・作品制作期間:8月中旬～9月13日(日)
- ・二次審査:9月16日(水)日没後
入賞作品の中から、大賞・準大賞を決定。

展示期間:2015年9月19日(土)～11月1日(日):44日間

展示場所:東遊園地(夜間展示)

6. 応募状況

114作品 (うち海外、12か国・22作品)

(ドイツ7、アメリカ3、イスラエル2、スペイン2、エクアドル1、フィンランド1、ルーマニア1、チェコ1、ポーランド1、インドネシア1、シンガポール1、香港1)

※海外在住の日本人を含む(日本国内在住の外国人を除く)

7. 問合せ先

神戸ビエンナーレ組織委員会事務局

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館17階

TEL:078-322-6598、FAX:078-322-6136、E-mail: kb_office@kobe-biennale.jp

○神戸ビエンナーレホームページ URL:<http://www.kobe-biennale.jp/>

神戸ビエンナーレ 2015 「アートインコンテナ国際コンペティション」 入賞者一覧

1. 作家名／Andreas Lutz 作品名／「WUTBURGER」 居住地／ドイツ



作品コンセプト／

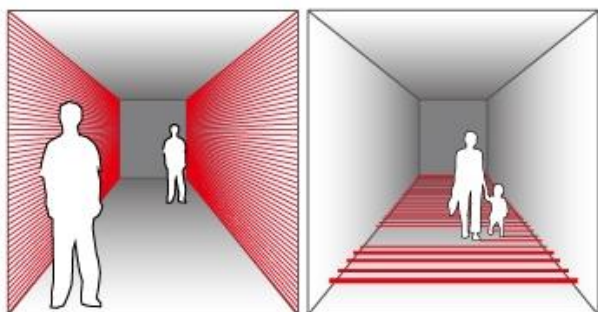
ビデオ・インスタレーション手法を用いた作品

“Wutburger” はあるドイツ人男性の半生における怒りや個人的挫折などを表現したものである。

主人公である Stefan W.氏が過去のいくつかの年代を思い返す様子を事前に撮影したビデオを使用する。

鑑賞者は彼の行動が自分に直接語りかけているかのようなイメージを体験する。

2. 作家名／藤元 翔平 作品名／「触れられないが、触れられる」 居住地／東京都



作品コンセプト／

500 個のレーザーモジュールを使用。コンテナ内にレーザー、光センサ、ブザーを配置。レーザーをセンシングし、レーザーに触れると音が空間に生成される。触れられるけど触れられない。感触というメディアが欠如した空間。

3. 作家名／栗 真由美 作品名／「builds crowd」 居住地／東京都



作品コンセプト／

街で見かけるさまざまな建物がミニチュアハウスとなって小さな明かりを灯しています。

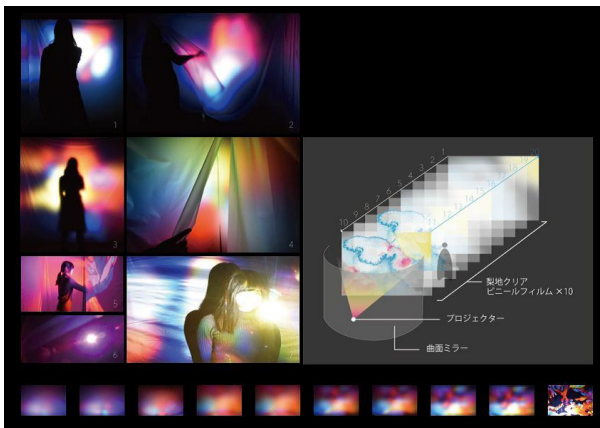
それらが集まり、エネルギー溢れる神戸の街のように、魅力に満ちた幻想的な輝きを放ちます。

4. 作家名／nici 作品名／「reopening」

居住地／東京都

作品コンセプト／

幾重にも重なるスクリーンに映し出される映像は美しい光の集まりとなって現れる。音とともに揺らぐその光は、自らの手で1枚ずつひらくことで映像として鮮明になる。色と光につつまれる空間は希望であふれるだろう。



5. 作家名／小谷真弘+近畿ロービジョン研究会 作品名／「寄り添う・・・手すり」

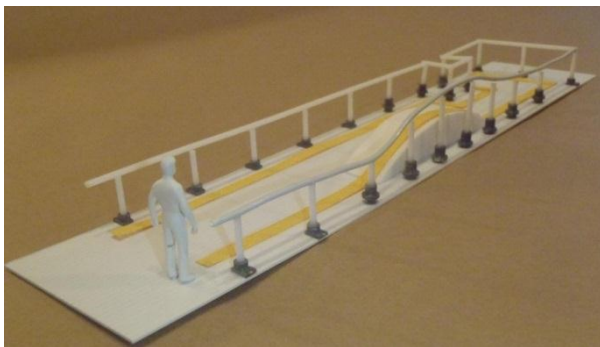
居住地／神戸市

作品コンセプト／

普段、目にする「手すり」は動作補助だけではなく歩く人の移動補助となり、手引きとなる。

目をつむり、暗所としたコンテナで、手すりなどから伝わる感覚や情報で移動する

視覚以外の触覚、聴覚、嗅覚で感じる作品。



6. 作家名／A+K 作品名／「SUttobu Kage Ippai (すつとぶ かげ いっぱい) 」

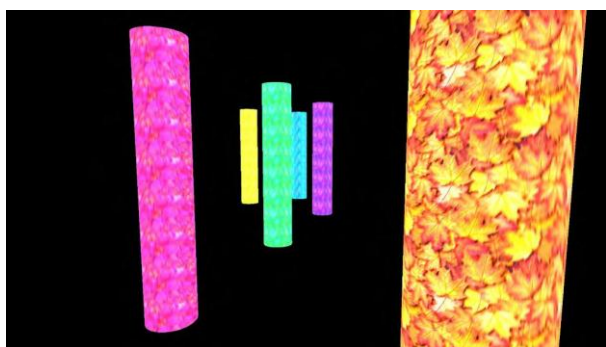
居住地／千葉県

作品コンセプト／

Kinect とプロジェクターでコンテナ内に投影された影（人のフォルム）は、送風機の風でコンテナ外へ飛び出す。影は気象データに基づき位置を解析。参加者は会期中にアプリで、影の位置を追跡することができる。



7. 作家名／Terhi Sallinen and Mikko Sallinen 作品名／「Natural Connection」

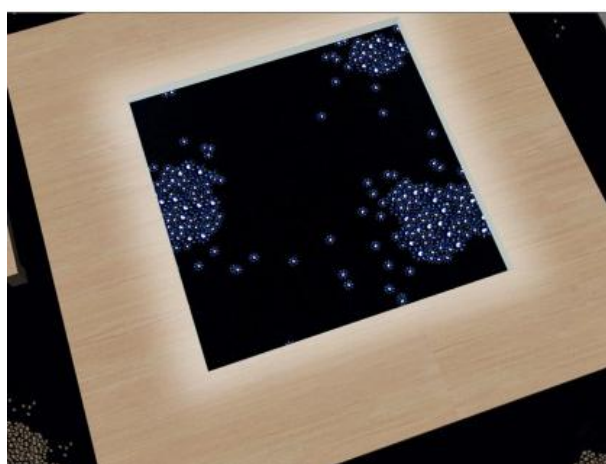


居住地／フィンランド

作品コンセプト／

「Natural Connection（自然とのつながり）」は鑑賞者の動きに反応する相互作用環境を用いた作品である。自然の葉で覆われた6本の光る柱が、鑑賞者の動きに反応し光や音を変える。鑑賞者は今まで体験したことのない環境や作品と自らが相互に影響しあう楽しさを発見できる。

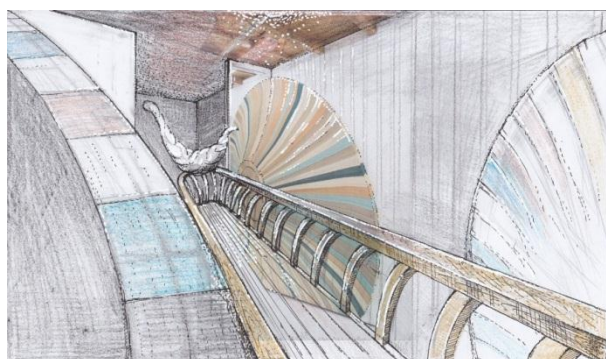
8. 作家名／吉岡沙映+鈴木亮太 作品名／「水路ノユメ」 居住地／神戸市



作品コンセプト／

入口から奥深くに続く〈回折格子シート〉が張られたガラスの飛び石は、光に隙を与え、物を透かして見ることができる装置である。体験者は、飛び石を超えるごとに光のズレが生み出す幻想的な光景を目撃する。

9. 作家名／石上 和弘 作品名／「富士山牛車」 居住地／静岡県



作品コンセプト／

鏡に映し出された木製の四つの車輪は直径約540cm。車輪の意匠は富士山で、それをはめた牛車はコンテナを2段に積んだ高さになる。この大きな乗り物は、行く先が見えぬ世の中をゆっくりと見据えながら進んでいく。

10. 作家名／神戸大学槻橋研究室 作品名／「Topological Membrane」 居住地／神戸市



作品コンセプト／

複層のトポロジー構造体を固定し、外周部に照明を内蔵する。一部の孔から内部に入ることができ、深部に進むにつれ、より有機的な空間を体験できる。その中で見え隠れする他者を含めた空間インスタレーションである。

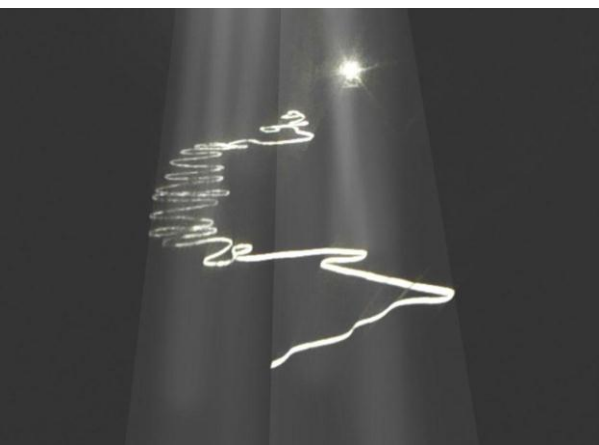
11. 作家名／Pal Peter 作品名／「The Screen (in-out, up-down)」 居住地／ルーマニア



作品コンセプト／

本作品は2枚のガラスレンズと映像投射装置で表現される。2枚のガラスレンズは溶かした透明ガラスの表面に水を張り、距離を空けて設置する。ガラスレンズはアルミニウムや鉄棒といったメタル・フレームで支える。映像投射にはプロジェクターとスクリーンを用い、野生の馬を撮影した映像を投射する。

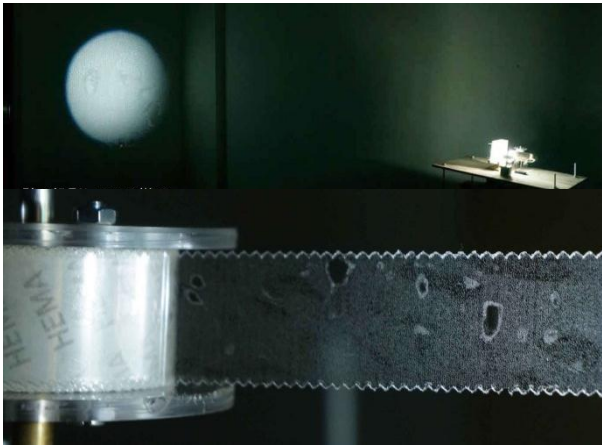
12. 作家名／沼倉 真理 作品名／「まどろみをたゆたう」 居住地／東京都



作品コンセプト／

コンテナ内に光を透過する布を垂らす。
投影された幾何学図形は、布の上で形を歪曲させて浮かび上がる。
それは言葉という媒体を通すと変容してしまう心情のよう。
好き。が共有出来た時の喜びは大きい、それは極めて稀な出来事なのかもしれない。

13. 作家名／片岡 純也 作品名／「Planet of the scotch tape / セロテープの惑星」

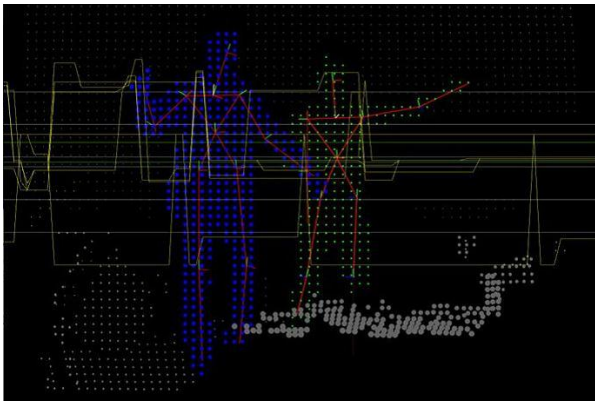


居住地／栃木県

作品コンセプト／

幻灯機による映像インスタレーション作品。セロテープの糊面にある有機的な模様を壁に映し出す。

14. 作家名／日本パーティ党 作品名／「ミュージックダンス (β)」 居住地／東京都



作品コンセプト／

元来ダンスとは「音楽に合わせて体を動かすこと。」であり、「体を動かすことに合わせて音楽が流れる。」本件遊戯はダンスにはあたらない。ゆえに風営法における三号営業には該当せず、合法的に営業が可能である。

15. 作家名／Max Love 333 作品名／「Love Vibe Inside 3D」 居住地／エクアドル



作品コンセプト／

3Dのフラクタル世界にようこそ。コンテナ内部一面に描かれたペインティング（長さ24m x 幅1.5m）とブラック・ライトを用い、一般的なコンテナ内部に幻想的な空間を表現する。

無限ともいえる LoveLand（愛の大地）のパノラマで満たされた小宇宙を3D手法とブラック・ライトで表現する。

以上、15 作品応募受付順。

※作品イメージは応募時のものです。実際の展示とは異なる場合があります。